令和４年度　第２回千葉市中央区公民館運営審議会議事録

１　日　　時　令和５年３月１６日（木）１４時００分～１５時１２分

２　場　　所　千葉市松ケ丘公民館 ２階 講堂

３　出　席　者（委　員）

伊藤(正）委員長、飯島 副委員長、甘利 委員、綾野 委員、伊藤（芳）委員、
井上 委員、大野 委員、佐藤 委員、鎮守 委員、桝田 委員、村松 委員、
吉川 委員、若海 委員

(事務局)

生涯学習振興課：課長 内海、主査 積田
教育振興財団：公民館管理室主査　中村
松ケ丘公民館長 大塚、生浜公民館長 石川、新宿公民館長 迎、
宮崎公民館長 桶田、葛城公民館長 平野、末広公民館長 佐々木、
椿森公民館長 元島、川戸公民館長 藤沢、星久喜公民館長 柿沼、
松ケ丘公民館副館長 川口、

４　議　　事

（１）報告事項

ア　令和４年度千葉市中央区公民館利用状況について（１月末現在）

（２）協議事項

ア　令和５年度千葉市中央区公民館事業計画（案）について

５　議事の概要

（１）報告事項

ア　令和４年度千葉市中央区公民館利用状況について、松ケ丘公民館長から報告を行った。

（２）協議事項

ア　令和５年度千葉市中央区公民館事業計画（案）について、松ケ丘公民館副館長及び各地区館長から説明を行い、質疑応答があった。

（３）その他

特になし

６　会議経過

（１）開会

・委員１３名全員の出席があり、千葉市公民館管理規則第１６条第１項に規定されている過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立。

・千葉市情報公開条例第２５条に基づき会議を公開（傍聴者１名）、議事録も公開。

・新型コロナ感染症感染対策として、換気の告知。

（２）委員長挨拶

（３）生涯学習振興課長挨拶

（４）議事

伊藤(正)委員長が議長を務め、議事に入った。

① 報告事項　ア　令和４年度千葉市中央区公民館利用状況について

会議資料に沿って、区内公民館９館の利用状況、区内１館の公民館図書室の利用状況について、松ケ丘公民館長が説明した。

≪質問・意見≫

・特になし

② 報告事項　イ　令和５年度千葉市中央区公民館事業計画（案）について

会議資料に沿って、中央区各公民館の事業について、松ケ丘公民館副館長及び各地区館長から報告を行った。

≪質問・意見≫

甘利委員　各公民館で工夫されていることは良いが、防災講座について実施している館が生浜・宮崎・末広の３館だけで、防犯の講座がないのはどうしてか。

防犯・防災についての事業も、もう少し取り入れていただきたい。

伊藤委員長　参考までに松ケ丘地区では、自主防災・防犯の会があり、地域全体を管理している。

桝田委員　各公民館より新規事業について説明があり、理解を深めることが出来た。

各公民館が新規事業を立上げたことは良いことだが、オンライン講座についての検証は必要と思われる。主催講座は、公民館で対面により実施するのが本来の姿だと思うが、コロナ禍で実施したオンライン講座については、メリット・デメリットを検証し、今後の運営を心掛けていただきたい。

コロナ禍で、公民館の利用団体が減少していると思われるが、今後、新規サークルが立ち上がるような事業の実施が必要と思われる。

公民館は、地域との連携が必要だが、文化祭が活発に出来るようにサークルにお願いし、公民館はバックアップしていただきたい。

伊藤委員長　主催事業の他に、地域との連携について教えていただきたい。

大塚館長　秋に公民館文化祭を開催しているが、文化祭の主催は各公民館のサークルが任意で加入しているクラブ連絡会が行っている。また、公民館も共催しているが、コロナ禍になり令和２年度～4 年度の３年間で、中央区で文化祭を開催した館は、令和４年度の新宿公民館だけであった。

現状ではさまざまなコロナ禍の状況も緩和され、5 月 8 日からは、感染法上の分類も 2 類から 5 類になり季節性インフルエンザと同等扱いになるため、文化祭も今年度は全体的に実施する方向になると考えられる。

今後は、3 年間実施していない文化祭が、例年どおりに実施できるかが問題だと思っている。

地域との繋がりは、松ケ丘公民館では夏と冬に子ども祭りを開催していたが、昨年の夏は松ケ丘小学校で実施、冬は第8波のため2年間続けて中止となった。

その他松ケ丘公民館では、地域運営委員会が毎月1回、公民館で円卓会議を実施している。

内海課長　公民館の講座は、趣味や健康など個人で楽しめるものが多くなっているが、先程お話しがあった防犯・防災等の講座などはおもしろい講座ではないが、地域課題や問題を見据え、地域との連携を取って実施していきたい。

オンラインは、施設に足を運ぶことが出来ない方等を対象にしているが、人と話し合う対面の講座とオンラインを両方使い、今後も実施していきたい。

また、オンラインは老人福祉施設にいる方など、どうしても公民館に足を運べない方も楽しんでいただくことができるので、引き続き行っていきたい。

利用団体数は、コロナ化で減少傾向にある。サークルメンバーの高齢化により、存続すべきか否か検討中にコロナがトリガーとなり、解散した団体もあったと聞いている。一方、令和3年度の新規サークルは、コロナ禍の中、市内全47公民館で16サークルが新設された

無理強いすることなく、継続できるように協力していきたい。

講座を実施するにあたり、楽しんでいただくことやきっちり学べることのほか、引き続き学んでいただけることも大事に考えている。また、講座数を増やすことで活動するサークルに影響が出ないよう、バランスを考えて運営していきたい。

綾野委員　松ケ丘公民館クラブ連絡会では、クラブ数や会員数の減少が課題になっている。

松ケ丘のクラブサークルでは、公民館協力のもと公民館だよりにサークル情報等を掲載し、サークルの紹介を実施している。

先程お話があった、椿森公民館のサークル活性化応援事業と宮崎公民館のサークル支援講座のお話を、もっと詳しく伺いたい。

桶田館長　今年度も実施しているが、1 つは柔軟運動で長く活動しているサークルで、人数が減ってきたため体験会など実施している。1 回無料で募集をかけたが、結構な人数の応募があった。

また、クラッシックバレーサークルも、小さい子が入って来ないため、1 回無料の体験会を実施した。昨日実施したが、3～4名の参加があった。

公民館としても、少しでもサークルの活性化に繋がるために積極的に応援したい。

元島館長　サークル活性化には2種類の考え方があり、1つは人数を増やしていくことで、世代交代がキーポイントだと考えている。その1例としてサークルのメンバーがサークルのフラダンス教室を開催し、参加者の中からサークルに入るメンバーが増員された。

もう 1 つは、新規のサークルを増やすことで、1 月に太巻きずしの教室を開催し、参加者同士が仲間となり、再度公民館が主体となり 3 月に 2 回目の教室を開催した。来年以降は、サークルが増えれば良いと考えている。

来年度の文化祭は、サークルが活性化できるように公民館も協力していく。

大野委員　公民館は避難所になっているが、現在公民館ではどの程度の備蓄があるのか。

大塚館長　　災害時は公民館が避難所として開設することはあるが、台風・地震や火災等の災害備蓄品は、飲料水、アルファー米、クラッカー、アルミ毛布などを備蓄している。

基本的には、風水害となどで非難する場合は、自分達で寝具や食料など用意することになっている。公民館の備蓄品は、非常用となっている。

大野委員　　災害時に自分たちで、寝具等持って来るのは承知していなかった。

大塚館長　　基本的には、避難者に説明をして持ってきていただくが、火事等の場合は持参できないので、その場合は、市の地域振興課くらし安心室で調達する。

（5）閉　会